第２回　北区新庁舎新築基本設計検討会　概要

- 日時　　令和８年７月28日（火）１７：３０～２０：００
- 場所　　第一庁舎３階 庁議室
- 次第　　１　開会
  ２　議事　（１）前回の振り返り
  （２）検討項目の確認について
  ３　事務連絡
  ４　閉会

●会議概要

１　開会

２　議事

（１）前回の振り返り

第１回検討会の振り返りを行い、各委員の発言要旨および決定事項等について確認を行った。

（２）検討項目の確認について

（規模について）

規模の検討はコストに大きな影響を与えるものと考える。工事費高騰は考慮すべきだが、税金が利用されるため、区民の目線で金額を見て議論をする必要があるといった意見や、「華美」と「価値」の違いを区民に納得してもらい、「華美」は削減し、「価値」は区民の為に投資することの重要であるといった意見があった。また、10 年後の新庁舎に必要な真の機能について再検証をする必要性についても言及された。一方で、規模については庁内で慎重に議論をしていく必要があるといった意見も出た。

このような議論の結果として、規模の検討については以下のような結論となった。

・施設構成は区の組織を優先して入居させる考えとする。
・食堂は設置せず、低層部のハウスを有効活用する。
・駐車場台数を 103 台から 90 台に方針を変更する。
・書庫、倉庫については 50%削減から 70%削減に方針を変更する。・職員数は基本計画の方針通り 1537 人の想定で変更なし。

（建物形状について）

街区型を検討している理由について妥当性を再確認し、委員全体の理解が得られた。

（バルコニー・外装・開口部について）

設計者より、バルコニーや外装開口部については、すでに約 30 億円規模のコストカットに取り組んでいることについて言及があった。委員からは、ルーバーの全周配置に対する疑問が提示され、方角・設置場所に応じたメリハリ、将来のメンテナンス性への配慮に関する指摘がなされるなど、

多角的な観点から検討を行った。
総合的な検討の結果、ZEB Ready 取得に必須となるルーバーについては、日射遮蔽効果の観点から横ルーバーを有効に活用すること、及びバルコニーを庇化する計画の妥当性を確認し、委員全体の合意を得た。

（ヘリポートについて）
他自治体事例や防災時の使い方を確認して、階段でアプローチできるヘリポートとした。

（エレベーター・エスカレーターについて）
エレベーターについては運用上の観点から削減困難である旨の説明があったのに対し、委員より、他庁舎事例等との比較による妥当性の精査が求められた。他自治体の先行事例を参考に引き続き継続検討を行うこととした。また、エスカレーターの設置階については、引き続き継続検討を行う方針とした。

（大空間について）
低層部の大空間（広場）について、これまでの検討経緯および多様な活動に対応する空間の必要性が示されたのに対し、委員より、日常的な運用想定や、コストと使い勝手のバランス、北とぴあとの役割分担の明確化が必要である旨の指摘がなされた。また、水害時における一時退避場所としての安全空間の整備や、将来的なランニングコストの抑制に関する意見も出された。
多角的な議論を踏まえ、低層部大空間の整備に向けた具体的な運用イメージやコストバランス、防災機能の精査等を次回に向けて継続検討することとした。

3　事務連絡

4　閉会